

中期計画の修正<2022年3月>について

本学では2020年4月に東洋学園中期計画(2020~2024)を策定いたしましたが、近年の新型コロナウイルス感染症の拡大を始めとする社会情勢の急激な変化により、学生の修学環境も大きく変化しております。このような状況の中、本学は学生の学びの環境をより一層高めるため、この度中期計画の修正を行いました。

変更点はこれまでの6つのマスタープランに「退学防止への取組」を新たに追加いたしました。引き続き、「100周年に向けて選ばれる大学に」に向けて誠心誠意取り組んでまいります。

今後とも、ご支援とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

以上

■100周年に向けて、選ばれる大学に

項 目	内 容
1 教育理念の明確化	建学の精神を踏まえ、理念、ビジョン、ミッションを再定義し、本学の強みと方向性を明確化するとともに、教学部門のPDCAサイクルを回し、本学における教育の質の保証を確立する。
2 切れ目のない教育支援	学生が入学から卒業まで、授業内外を問わず、切れ目のない学修支援を受け、自らの可能性を広げられるよう支援する。
3 充実の学生生活支援	学生一人ひとりが充実した学生生活を送り、多様な背景を持つ学生が個々の能力や可能性を高めることができる体制を構築する。
4 グローバル化と地域連携の推進	国内外を問わず、学生の国際体験及び多様な価値観に触れる機会を増やすとともに、地域社会に向けて一層の貢献を行う。
5 キャリアサポート・就職支援体制の強化	キャリア教育の充実と教職協働のもと、学生一人ひとりの進路希望を実現する支援体制を構築する。
6 財政基盤の安定とガバナンスの強化	教育研究目的・目標を実現する上で必要な財政基盤を確立するため、具体的な方策及び目標数値等を設定して取り組むとともに、ガバナンスの強化を図る。
7 退学防止への取組	除籍・退学率と関係の深い、1年春学期の取得単位数が10単位未満の者をゼロにすることを目標として、全学的に退学防止へ取り組む。